

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

1. 建物概要

| | |
|--------|--------------------------|
| 建物名称 | (仮称)食育・花育センター |
| 建設地 | 中央区 |
| 用途地域 | 用途地域指定なし、法22条地域 |
| 建物用途 | 集会所 |
| 竣工年 | 2011年6月 予定 |
| 敷地面積 | 12,054.04 m ² |
| 建築面積 | 1,859.02 m ² |
| 延床面積 | 2,338.56 m ² |
| 階数 | 地上2F |
| 構造 | RC造 |
| 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 評価の実施日 | 2010.4.20 |



2. CASBEE新潟の評価結果

| | | |
|---|---|--|
| | A | $BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{78}{31} = 2.5$ |
| S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ | | |

3. 新潟市の重点項目の評価

| 項目 | 平均スコア | 評価 | 項目 | スコア |
|---------------------------------------|-------|----|----------------|-----|
| 1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために | 3.4 | | バリアフリー | 3.0 |
| | | | 維持管理 | 4.0 |
| | | | 更新性 | 3.1 |
| 2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために | 3.5 | | 耐震・免震 | 3.8 |
| | | | 信頼性 | 3.2 |
| 3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために | 3.0 | | 雨水排水負荷低減 | 3.0 |
| 4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために | 3.5 | | 建物の熱負荷抑制 | 3.0 |
| | | | 自然エネルギー利用 | 4.0 |
| 5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために | 4.0 | | 節水 | 3.0 |
| | | | リサイクル材の使用 | 5.0 |
| | | | 再利用可能性向上 | 4.0 |
| 6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために | 4.0 | | 生物環境の保全・創出 | 4.0 |
| | | | 敷地内温熱環境の向上 | 4.0 |
| 7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために | 5.0 | | まちなみ・景観への配慮 | 5.0 |
| | | | 地域性への配慮・快適性の向上 | 5.0 |

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 外壁をタイルとし、補修の少ない材料とした。清掃しやすい床材とした。維持管理棟の設置を計画した。
- 高強度建材の使用を計画した。
- 雨水貯留層の設置を計画した。
- クールヒートチューブ、雨水利用、屋上緑化、アトリウム重力換気、太陽光発電を計画した。
- 再生木ルーバーの使用を計画した。
- 敷地内を緑化し、建物の屋上部の緑化も計画した。
- 鳥屋野潟の水鳥をモチーフとし、シンボルとなる外観を計画した。

CASBEE[®]新潟 | 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新潟(簡易版) 2008年度 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される